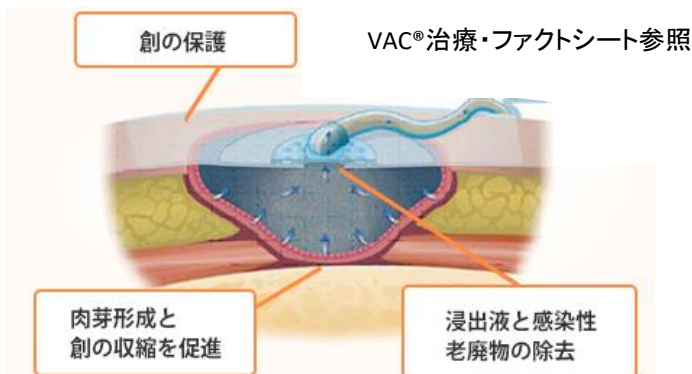


YODOe-learning Box 2018年12月19日

暖冬で季節はずれの暖かさが続きましたが、師走となり流石に冬らしくなってきました。冬のスポーツといえば、スキーにスケート。男子に比べて元気のなかった、日本女子スケート界に、世界の浅田の代わりとなるnewヒロインが誕生しましたね。これからは楽しみです。

さて、今回は褥瘡の話題です。11月に前任者から引き継ぎました褥瘡ラウンドですが、これからは淀井の朝田とともに毎週木曜日に4F～7Fまで一気にラウンドしようと考えております。また今回は、局所陰圧閉鎖療法を開始しましたのでご紹介。



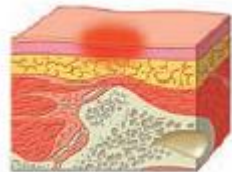
当院ではRENASYS Touch®(左) PICO®(右)を採用



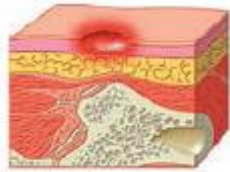
局所陰圧閉鎖療法 (Negative Pressure Wound Therapy(VAC)) は深い傷や浸出液の多い傷に効果的に働き3週間継続できます。褥瘡の形や場所によって対応して始めたいと思います。

褥瘡にはStageが4段階ありStage3.4では創傷治癒に時間を要することがあるためVACの適応になります。感染のコントロールができていないことが条件になります。

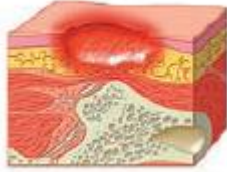
Stage1
消失しない発赤



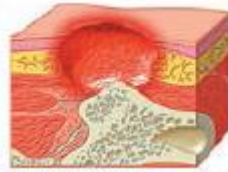
Stage2
部分欠損 表層のみ



Stage3
全層皮膚欠損



Stage3
全層組織欠損



褥瘡の予防&治療 クイックリファレンスガイド(Pressure Ulcer Prevention and Treatment)より引用



軟膏もいろいろありますが目的別に使っています。

ゲーベン: 幅広い**抗菌**効果。基剤の保水効果により壊死組織が**融解**

ネグミンシュガー: ポピドンヨードによる**滅菌**効果と白糖による**創傷**治癒効果

アクトシン: **肉芽**形成と**上皮化**促進

フィブラストスプレー: **肉芽**形成促進

アズノール: 抗**炎症**作用(むしろ基剤の保護効果が重要)

ブロメライン: 吸水性が強く滅菌効果と壊死組織除去効果あり(当院採用なし)

これらの一覧表は、看護部門およびもろもろフォルダのGYO-KAInewsから閲覧できます。
文責 上野